

10cmフルレンジスピーカーシステム
組立キット(2台一組)

WP-SPF100A

組立説明書

Ver.1



KYORITSU
共立電子産業株式会社

●必要な工具

- ・プラスドライバー(No.2)
- ・L定規 又は三角定規

●主な仕様

- ・形式 スリットバスレフ型
- ・スピーカーユニット口径 10cm
- ・インピーダンス 4Ω
- ・定格入力 25W (最大入力 40W)
- ・出力音圧レベル 85dB/W.m
- ・外形寸法 幅140mm 高さ330mm 奥行き265mm
- ・重量 4.0kg(1台)

●お断り

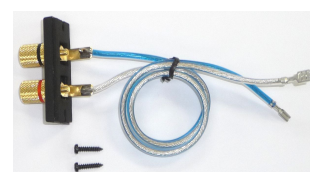
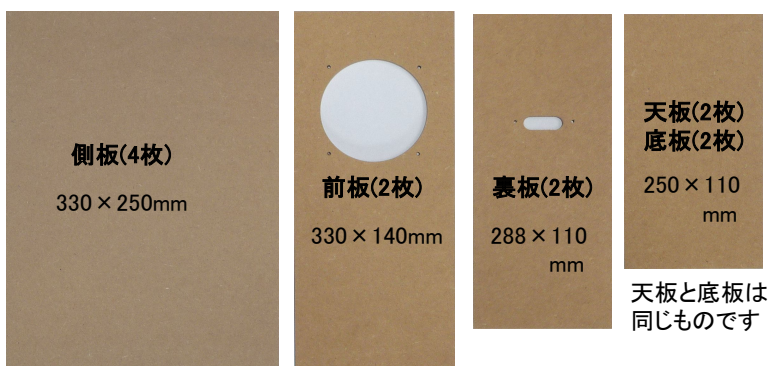
- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますことあらかじめご了承ください。
- ・本製品は組立キットです。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立作業)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組み込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26
TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

●このキットに含まれるパーツ



ターミナル(2個)
(スピーカーケーブル
取付済み)
タッピングネジ(4本)



スピーカーユニット(2個)
タッピングネジ(8本)

●別途ご用意していただくもの

木工用ボンド
(50g 1個)



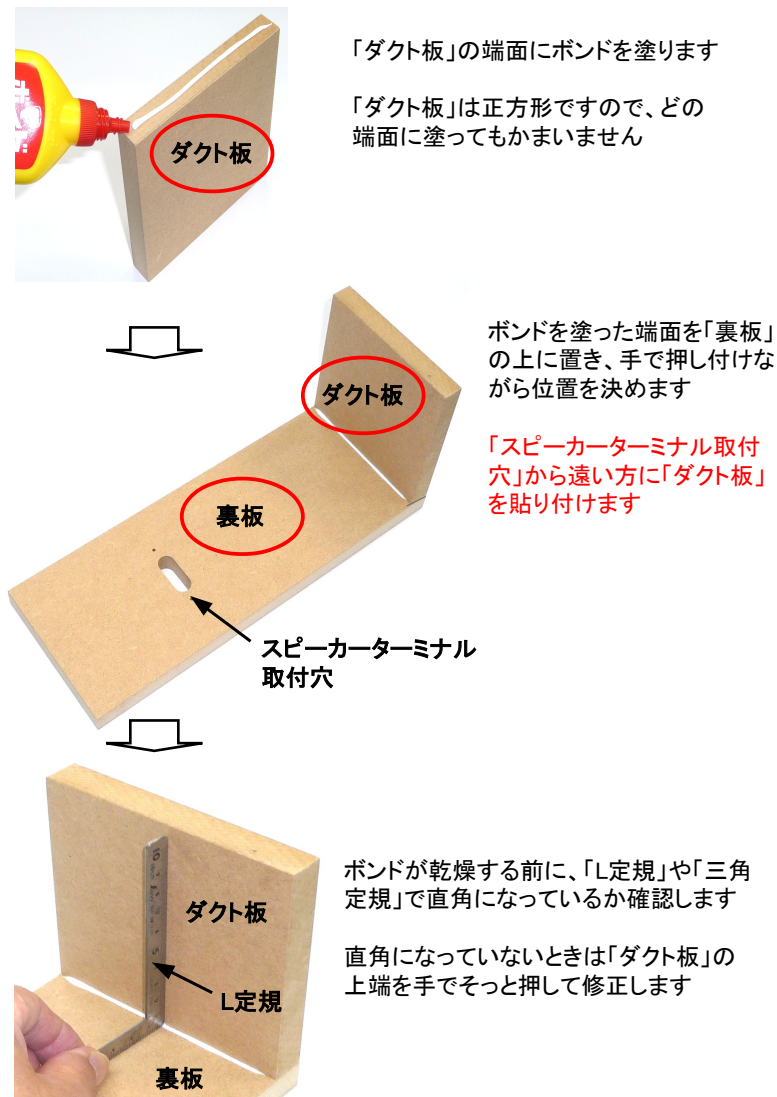
吸音材



オーディオ用吸音材の代わりに手芸用の「ポリエステル綿」なども使用できます
どちらも「100円ショップ」や「ホームセンター」などで購入できます

●組み立て手順

(1)「ダクト板」を「裏板」に接着します



「ダクト板」の端面にボンドを塗ります

「ダクト板」は正方形ですので、どの端面に塗ってもかまいません

ボンドを塗った端面を「裏板」の上に置き、手で押し付けながら位置を決めます

「スピーカーターミナル取付穴」から遠い方に「ダクト板」を貼り付けます

ボンドが乾燥する前に、「L定規」や「三角定規」で直角になっているか確認します

直角になっていないときは「ダクト板」の上端を手でそっと押して修正します

端面にハミ出たボンドは「濡れ雑巾」で拭き取っておきます

この作業を怠ると「側板」に接着したときに浮き上がってスキマができてしまいます

5~10分待つとボンドが硬化してきますので次の作業に進みます

(2)-1「天板」を「側板」に接着します

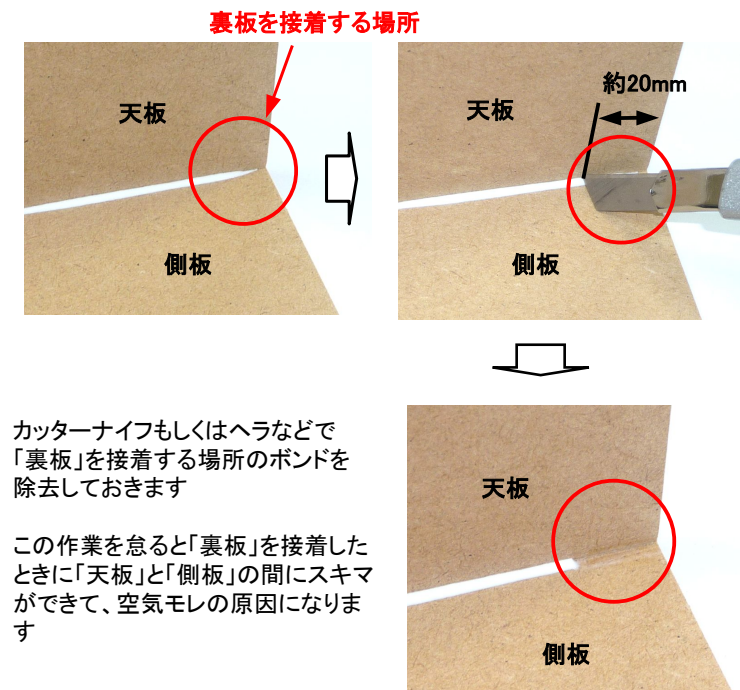


「天板」は4枚ありますが、同じサイズですので、どれを使用してもOKです

「ダクト板」の接着と同じ要領です

ボンドが乾燥する前に「L定規」や「三角定規」で直角になっているか確認します

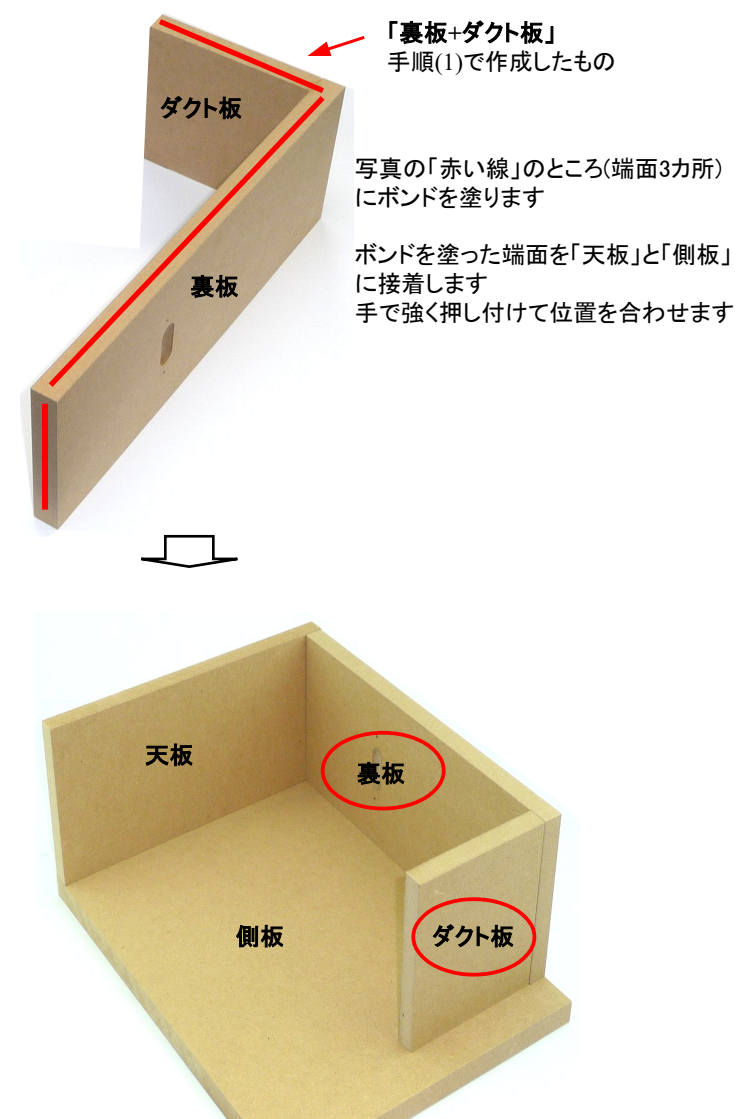
(2)-2「裏板」を接着する場所のボンドを除去しておきます



カッターナイフもしくはヘラなどで「裏板」を接着する場所のボンドを除去しておきます

この作業を怠ると「裏板」を接着したときに「天板」と「側板」の間にスキマができて、空気モシの原因になります

(3) 手順(1)で作成した「裏板+ダクト板」を「天板」と「側板」に接着します



「裏板+ダクト板」手順(1)で作成したもの

写真の「赤い線」のところ(端面3カ所)にボンドを塗ります

ボンドを塗った端面を「天板」と「側板」に接着します
手で強く押し付けて位置を合わせます

すべての組立工程をカラー写真でくわしく説明しています(A3×2ページ)

●内部構造

